

力作写真の数々が並んだ会場



6/20-28  
(土-日)

## かがみいしフォトコン作品展 町の魅力捉えた力作並ぶ

2019 かがみいしフォトコンテストの作品展が、イオンスーパーセンター鏡石店専門店街通路で行われました。町内外の62名から応募があった173点が展示され、桜やあやめを写した季節を感じさせる作品から、かがみいし田んぼアート、オランダ祭りなど鏡石町ならではの魅力を捉えたものまで、個性あふれる様々な作品が並び、訪れた人たちは足を止めて作品に見入っていました。

## 県町村会定期総会で表彰

### 鏡石町が「優良町村」に

福島県町村会定期総会（書面開催）において、「行政運営が総合的に充実し、その実績が他の模範となる」として、鏡石町が優良町村として表彰されました。遠藤栄作町長は「町民の皆様、町議会のご指導、ご協力の賜物。今後も町政進展のため、『進化するまちづくり』に取り組んで参ります」と話しています。



表彰状を手にする遠藤町長（中央）

6/2  
(火)

## 2020 かがみいしフォトコンテスト

募集作品テーマ 「鏡石町を観光してみたい！」



鏡石町観光協会では「鏡石町を観光してみたい！」をテーマに、鏡石町の風景、イベント、グルメなどの観光資源、素材、おいしいもの等を活かして、より多くの方々に来訪を動機づけできる作品を募集する「フォトコンテスト」を実施します。なお、入賞作品及び入賞に相当する作品は、広告・パンフレット等観光宣伝事業の素材として活用します。

今年については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、「ステイホーム」をテーマにした作品も募集します。自宅で撮影した何気ない日常の写真等の応募も可能です（町内在住者限定）。

- 応募サイズ カラープリント四ツ切、ワイド四ツ切、A4、六ツ切、ワイド六ツ切
- 撮影期間 令和2年2月1日～令和3年1月31日の期間に撮影したもの
- 応募期間 令和2年7月1日～令和3年1月31日（当日消印有効）
- 審査 令和3年2月上旬
- 発表 令和3年2月上旬 ※入賞者に直接通知します。
- 展示 令和3年4月上旬～5月上旬 イオンスーパーセンター鏡石店内にて（予定）
- 褒賞（予定）
 

最優秀賞／1点	賞状・副賞（3万円）
優秀賞／1点	賞状・副賞（2万円）
あやめ賞／1点	副賞（1万円+商工会商品券5千円分（マメタイムス社賞））
さくら賞／1点	副賞（1万円+商工会商品券5千円分（阿武隈時報社賞））
岩瀬牧場賞／1点	副賞（商工会商品券1万円分+楚人冠ヨーグルト（岩瀬牧場賞））
月刊すかつと賞／1点	副賞（1万円+商工会商品券5千円分）
田園風景賞／1点	副賞（商工会商品券1万円分）
四季賞／4点	副賞（商工会商品券5千円分）
佳作／3点	副賞（商工会商品券5千円分）
特別賞／適宜	副賞（商工会商品券5千円分）
ステイホーム賞／1点	副賞（商工会商品券1万円分）



※応募規定は町観光協会ホームページをご覧ください。



● 応募・問い合わせ先 〒969-0492 鏡石町不時沼 345 鏡石町観光協会（町産業課内） ☎0248-62-2118

## 「花いっぱいおもてなし事業」 岩農生が花の定植作業

鏡石駅で「花いっぱいおもてなし事業」として岩瀬農業高校の皆さんによる花の定植作業が行われました。この事業は駅を花で彩り、来町者をお迎えしようと毎年行われています。今回は同校ヒューマンサービス科の2年生15名と、3名の先生にご協力をいただき、サルビアやマリーゴールド、ペゴニアなどの苗を、駅西口・東口の花壇に定植していただきました。



花苗の定植作業を行う生徒ら

6/17  
(水)

## 鏡石町赤十字奉仕団 児童に手作りマスク

鏡石町赤十字奉仕団（渡辺啓子委員長）は、子どもたちの新型コロナウイルス感染症予防に役立ててほしいと、町内の幼稚園や保育所に手作りマスク計550枚を寄贈しました。寄贈したマスクは団員が一つ一つ丁寧に手作りしたもので、児童たちは元気にお礼の言葉を述べると、早速お気に入りの柄のマスクを選んで着用していました。



マスクを受け取る園児ら（鏡石幼稚園）

6/19  
(金)

## 高久田サロンで講座 認知症に理解深める

高久田集会所でサロンの一環として「認知症サポーター養成講座」が開かれました。株バイタルネットの緑川直輝さんが講師を務め、参加者は認知症の主な症状や予防策、当事者との向き合い方などについて理解を深めていました。また、参加者には認知症の人やその家族の応援者である「認知症サポーター」の証として「オレンジリング」が手渡されました。



認知症について学ぶ参加者

6/19  
(金)